共立女子第二中学校

２０１９年度

入学試験問題（２回ＡＭ）

【　国　語　】

試験時間 50 分

【　注　意　】

1　試験開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
2　問題は一～三で、全部で 11 ページです。試験中に汚れや不足しているページに気づいた場合は、手をあげての先生を呼んでください。
3　解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出してください。

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（本文には一部改めたところがあります）

日本人は自己主張が苦手だと言われる。①グローバル化の時代だし、もっと自己主張ができるようにならないといけないなどと言う人もいる。でも、日本人が自己主張が苦手なのには理由がある。そして、それはけっして悪いことではない。

②、アメリカ人は堂々と自己主張ができるのに、僕たち日本人はなぜうまく自己主張ができないのか。

それは、そもそも③日本人とアメリカ人では自己のあり方が違っていて、コミュニケーションの法則がまったく違っているからだ。

アメリカ人にとって、コミュニケーションの最も重要な役割は、相手を説得し、自分の意見を通すことだ。お互いにそういうつもりでコミュニケーションをするため、遠慮のない自己主張がぶつかり合う。お互いの意見がぶつかり合うのは日常茶飯事なため、まったく気にならない。

一方、④日本人にとって、コミュニケーションの最も重要な役割は何だろう。相手を説得して自分の意見を通すことだろうか。そうではないだろう。僕たちは、自分の意見を通そうというより前に、相手はどうしたいんだろう、どんな考えなんだろうと、相手の意向を気にする。そして、できることなら相手の期待を裏切らないような方向に話をまとめたいと思う。意見が対立するようなことはできるだけ避けたい。そうでないと気まずい。

つまり、僕たち日本人にとっては、コミュニケーションの最も重要な役割は、お互いの気持ちを結びつけ、良好な場の雰囲気を醸し出すことなのだ。強烈な自己主張によって相手を説き伏せることではない。

⑤自己主張のスキルを磨かずに育つことになる。自己主張が苦手なのは当然なのだ。その代わりに相手の気持ちを察する共感性を磨いて育つため、相手の意向や気持ちを汲み取ることができる。

相手の意向を汲み取って動くというのは、僕たち⑥日本人の行動原理といってもいい。コミュニケーションの場面だけではない。

⑦、何かを頑張るとき、ひたすら自分のためというのが欧米式だとすると、僕たち日本人は、だれかのためという思いがわりと大きい。〔中略〕

自分の中に息づいているだれかのために頑張るのだ。もちろん自分のためでもあるのだが、自分だけのためではない。

このような人の意向や期待を気にする日本的な心のあり方は、「他人の意向を気にするなんて自主性がない」とか「自分がない」などと批判されることがある。でも、それは［⑧］的な価値観に染まった見方に過ぎない。

教育心理学者の東洋は、日本人の他者志向を未熟とみなすのは欧米流であって、他者との絆を強化し、他者との絆を自分の中に取り込んでいくのも、ひとつの発達の方向性とみなすべきではないかという（東洋の著書『日本人のしつけと教育―発達の日米比較にもとづいて』東京大学出版会、一九九四年）。

そもそも欧米人と日本人では自己のあり方が違う。僕たち日本人が、率直な自己主張をぶつけ合って議論するよりも、だれも傷つけないように気をつかい、気まずくならないように配慮するのも、欧米人のように個を生きているのではなくて、関係性を生きているからだ。

心理学者のマーカスと北山忍は、アメリカ的な独立的自己観と日本的な相互協調的自己観を対比させている。

独立的自己観では、個人の自己は他者や状況といった社会的文脈から切り離され、そうしたものの影響を受けない独自な存在とみなされる。そのため個人の行動は本人自身の意向によって決まると考える。

それに対して、相互協調的自己観では、個人の自己は他者や状況といった社会的文脈と強く結びついており、⑨そうしたものの影響を強く受けるとみなされる。そのため個人の行動は他者との関係性や周囲の状況に大いに左右されると考える。

このような相互協調的自己観をもつ僕たち日本人は、個としての自己を生きているのではなく、関係性としての自己を生きている。関係性としての自己は、相手との関係に応じてさまざまに姿を変える。その場その場の関係性にふさわしい自分になる。⑩相手との関係性によって言葉づかいまで違ってくる。欧米人のように相手との関係性に影響を受けない一定不変の自己などというものはない。

〔榎本博明『〈自分らしさ〉って何だろう？　自分と向き合う心理学』〕

問一 ②・⑤・⑦にあてはまる語として適するものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア たとえば　イ だから　ウ しかし　エ では

問二 ①「グローバル化の時代」とはどういう時代ですか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 世界中が自国の文化を大切にする時代　イ 日本の経済活動がアジアで活発化する時代

ウ 世界各国が国境を越えてつながる時代　エ 科学技術の発展により便利になった時代

問三 ③「日本人とアメリカ人では自己のあり方が違」う理由を説明している一文を本文中から探し、はじめと終わりの三字をぬき出しなさい。（句読点などがあれば一字とします）

問四 ④「日本人にとって、コミュニケーションの最も重要な役割は何だろう」について、

Ⅰ アメリカ人にとって「最も重要な役割」は何ですか。本文中から十七字で探し、はじめと終わりの三字をぬき出しなさい。

Ⅱ 「日本人にとって」の「最も重要な役割」は何ですか。本文中から三十字以内で探し、はじめと終わりの三字をぬき出しなさい。

問五 ⑥「日本人の行動原理」とありますが、具体的にはどのような行動ですか。これにあてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 夢をかなえるためにオリンピックに出場したい　イ 親を悲しませないために悪事はしない

ウ 応援してくれている親を喜ばせるために頑張る　エ 監督のために何としても優勝したい

問六 ⑧にあてはまる語として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 日常　イ 相互協調　ウ 日本　エ 欧米

問七 ⑨「そうしたもの」とありますが、これは何を指しますか。本文中から十五字以内でぬき出しなさい。

問八 ⑩「相手との関係性によって言葉づかいまで違ってくる」とありますが、実際の日常生活の中ではどのような場面で、どのように言葉づかいが違ってきますか。具体例を挙げて説明しなさい。

問九　本文の内容に最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア　筆者は、日本人が自己主張できずコミュニケーションがとれないことを嘆(なげ)いている。

イ　教育心理学者の東洋は、日本人が関係性の中で生きることを未熟だとは思っていない。

ウ　マーカスと北山忍は、アメリカ的な相互協調的自己観は周囲からの影響であると述べている。

エ　アメリカ人と対比すると、日本人は一定不変の自己を持ち、他者との絆を大切にしている。

二、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（本文には一部改めたところがあります）

「……うん。楽しいよ」

「勉強が？　め、めんどくさくない？」

「うん。めんどくさい。けど、力つけてるんだーって、実感できる」

はあ。やっぱりぼくのいとこなんて思えない。

ぼくなんて、夏休みの宿題のドリルすら、ちゃんとやってないのに。

「練習をつめば計算のスピードが速くなるのって、スポーツと似とるし。むずかしい問題の解き方がひらめくと、ゲームをクリアしたような感覚になるよ」

A

「そういえば今日……健斗(けんと)って子に会ったよ」

「あ……そう」

「あおいのこと気にしてたよ」

「しつこいよね」
「あおい、模試で新潟(にいがた)にいくから大会には出られない、ってみんなにいってないの？」
「……いっとらんけど？」
「何もいわないから……ずっと心配してるんじゃない？」
「心配なんてしとらんっ」
あおいはシャーペンをカチカチカチ、と鳴らした。
「あ、ごめん……」
「もう、いいから」
あおいはテーブルに顔を近づけると、①長い髪(かみ)でぼくをシャットアウトした。
今、解いているドリルの上に、ノートが広げられている。
びっしりと数字で埋(う)まっていて、ところどころ赤字でポイントや気をつけることを書きこんでいるみたいだ。
本当に、すごい。
「あおい……ぼく……」
「なに？」

B

「ぼく、あおいが泳いでいる動画を見て、②かっこいいなって思って、ぼくも泳いでみたいっていっちゃったんだけど……」
あおいが手を止めた。
「泳いでないあおいも、かっこいいと思う」
「えっ」
「勉強しているあおいも、同じくらいかっこいい……と思うよ」
あおいが顔を上げた。

顔が少し赤くなって、くちびるをかみしめている。
わわっ、ぼく、何いっちゃったんだろう。
「颯太、わたし……なりたいものがあるの」
あおいはウーンと両手を頭の上にのばすと、おじいちゃんのお仏壇の前にむかった。
「何？　何になりたいの？」
ぼくもあおいについて、お仏壇の前に座った。
おじいちゃんが写真の中でわらっている。
「お医者さん……目指してみようかなって」
あおいが、おじいちゃんの写真を見つめていった。
「おじいちゃんが病気のとき、佐渡中央病院の先生が③すごくいい先生だったの」
あおいがマッチをすって、ろうそくに火をつけ、お線香にともした。
窓の外から、カナカナカナ……と、ヒグラシの声がきこえる。
「病気が見つかったとき、もう、やれることがあんまりなかったの、知っとるよね」
「うん……」
「でも、響子先生は……おじいちゃんも、おばあちゃんもなるべくつらくないようにって、たくさん、話をきいてくれた」
響子先生って、おじいちゃんの担当だった、お母さんくらいの年齢の先生だ。
お線香のにおいが、畳の部屋に広がる。
「おじいちゃんが亡くなったとき、すごく悲しかったのに、響子先生の顔を見たら、なぜか……ほっとして……」

C

「な、何か飲む？」
ぼくはあわてて冷蔵庫へむかった。

背中ごしに、あおいがつぶやいた。
「それって、すごいなあって……思ったんだ……」
「うん」
ぼくはふりむかずにうなずいた。
冷蔵庫の中に、もう麦茶はなかった。
かわりに炭酸飲料をコップについで、テーブルにもどったあおいに渡(わた)した。
「はい」
「ありがと……」
あおいがコップを受けとると、プチプチと泡(あわ)がはじけた。
しばらくふたりで、泡がのぼるのを見つめた。
ぼくは、はじめて海の中をのぞいたときのことを思いだした。
「ぼく、本当は二十五メートルしか泳げないんだ。しかも海の中にもぐったこともなかった」
「えっ……！」
「だけど、今日は平泳ぎで五十メートルはいけたと思う。ぼくは、遠泳、がんばってみる」
あおいは炭酸に少し口をつけるとうなずいた。
「わたし……舞美(まいみ)たちが……去年の大会の後に陰口(かげぐち)いっとったの、きいてしまったんだ」
「な、なんて？」
『あおい、先頭泳がせとけばラクだけど、なんでも余裕(よゆう)って感じでウザイよね』……とか」
「うそっ……」
「もうそのときは、くやしくてくやしくて。でも、そんなことわすれようって勉強に打ちこんどったら、楽しくなって……。そして、わかったの。本当にくやしかった理由が」

D

「わたし、遠泳に逃げてたんだと思う。本当は去年の夏休みからちゃんと受験勉強しようと思ってたのに、勇気が出なくて……。みんながリーダーやってっていうから、しかたないなっていいながら、④本音はどこかホッとしてた。全部、中途半端だったんだよね……」

「も、もしそうだったとしても……陰口いうなんて、ひどいよ……！」

体がカッと熱くなったぼくに、あおいがさっぱりとほほえんだ。

「この夏は、もう楽な方に逃げないで、自分が本当にやりたいことにかけたいんだ」

うわ……。⑤やっぱりあおいは強いなあ……。

ぼくがグラスについた水滴をぬぐうと、あおいがぺこっと頭を下げた。

「颯太が大会に出たい、っていったとき、わたし、本当はちょっとくやしくて、『むり』って強くいってしまったんだ……ごめん」

「えっ、なんで？」

「目がキラキラしてて、気もち、伝わってきたから。なんで⑥ハードルの高いことに、まっすぐにむかっていけるんだろう……って」

「でも……でも、ぼくがその気になれたのは、あおいの泳ぎを見たからだよ」

あおいはぼくの言葉に小さく何度かうなずくと、グラスに口をつけた。

白くて細いのどがこくり、と動いた。

ぼくも炭酸をごくっと飲んだ。

⑦泡が、のどの奥ではじけた。

〔高田由紀子『青いスタートライン』〕

問一 A ～ D にあてはまる文として適するものを選び、それぞれ記号で答えなさい。（記号は一度しか使えません）

ア あおいが言葉につまった。
イ あおいが髪をかきあげる。
ウ あおいの声がはずんでいく。
エ あおいが大会のときの写真を見つめた。

問二 ①「長い髪でぼくをシャットアウトした」とありますが、ここから「あおい」のどのような気持ちがわかりますか。二十字以内で説明しなさい。

問三 ②「かっこいいな」とありますが、この言葉には「あおい」へのどのような気持ちが込められていますか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 何でもできることを自慢するいとこに嫉妬する気持ち
イ 男子にも勝とうとしてしまういとこを注意する気持ち
ウ 目標に向かって一生懸命に努力する姿を尊敬する気持ち
エ なかなか言葉にできなかったいとこを愛しく思う気持ち

問四 ③「すごくいい先生だった」とありますが、どのような点を「いい先生」だと表現していますか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 子供に対しても隠さずに事実を伝えてくれた点
イ 高額な診察料などは一切受け取らないという点
ウ 最後まで諦めることなく治療を考えてくれる点
エ 患者の家族のためを思って話を聞いてくれる点

問五 ④「本音はどこかホッとしてた」とありますが、その理由は何ですか。二十五字以内で説明しなさい。

問六　⑤「やっぱりあおいは強いなあ……」とありますが、このように感じた理由として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア　自分を悪く言う友達を許そうとしているから。
イ　友達に悪口を言われても平然としているから。
ウ　勉強と遠泳の両立を目指そうとしているから。
エ　反省を行動に活かそうと取り組んでいるから。

問七　⑥「ハードルの高いこと」とありますが、具体的には何を示していますか。二十字以内で説明しなさい。

問八　⑦「泡が、のどの奥ではじけた」とありますが、「泡」に込められた意味として、あてはまらないものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア　希望　　イ　意欲　　ウ　可能性　　エ　生命力

問九　本文全体の説明として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア　「なに？」や「えっ」など短い会話を重ねることで、二人の意見が対立していく緊張感を表現している。
イ　「ヒグラシの声」や「お線香のにおい」などを描写することで読者に情景を想像させる工夫をしている。
ウ　「カチカチ」や「プチプチ」など擬音語を用いることで、希望に胸をふくらませる様子を表現している。
エ　「目がキラキラして」など擬人法を用いて揺れ動く「あおい」の心情を明確に表現する工夫をしている。

三、次の問いに答えなさい。

問一　次の①～④の□にあてはまる語として最も適するものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　取らぬ□の皮算用　　②　立つ□跡をにごさず　　③　□の面に水　　④　□に小判

ア　蛙　　イ　鳥　　ウ　狸　　エ　猫

問二　次の①～④と熟語の構成が同じものを選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　苦楽　　②　海底　　③　存在　　④　挙手

ア　豊富　　イ　求職　　ウ　光線　　エ　軽重

問三　次の①～④の言葉を正しい敬語に直したとき、適するものはどちらですか。それぞれ記号で答えなさい。

①　校長先生は、今回のことを（　ア　ご存じで　　イ　存じ上げて　）いらっしゃいますか？

②　そのニュースならば、昨夜、私も（　ア　ごらんになり　　イ　拝見し　）ました。

③　私の母は、京都のお寺で（　ア　めしあがる　　イ　いただく　）お茶とおかしを楽しみにしている。

④　みなさん、田中先生がもうすぐ（　ア　いらっしゃる　　イ　うかがう　）ので、準備しましょう。

問四　次の①～④の文の――線部の漢字をひらがなに直しなさい。

①　言葉が誤解を生んだ。　　②　今は幹を太くする時期だ。　　③　机の上に無造作に置く。　　④　時間を延々と費やす。

問五　次の①～④の文の――線部のカタカナを漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなをひらがなで書きなさい。

①　チイキを活性化する。　　②　二人はタイショウ的な性格だ。　　③　学校のエンカクを調べる。　　④　小鳥のミズアビ。